

『人間を守る者—ピクトさん』

王 宇

現在、多くの国では法律によって、建築物の中に避難標識の設置が義務づけられています。だから、何処のビルでも非常口の上には必ず走っている緑の小さい人が見えます。1979年に、彼は日本で生まれて、1987年には世界中で非常口の標識になりました。彼は、悲しい火災があって生まれました。そして、その時から現在までずっと使われています。1972年と1973年に日本では、2回大きな火災が原因で大勢の人が亡くなりました。原因ははっきりしていて、火災時に避難標識が無かったからです。それが有って、1979年に字が読めなくても解る避難標識デザインの公募が有り、彼が生まれ、後に国際標識になりました。このピクトさんのデザインは簡単で、ハッキリと見えます。慌てている人にとっては、緑色は安全に見えます。この様な理由が有り、彼は世界中で使われています。人々を守る彼に感謝する為に、日本人は彼に親しみを込めてピクトさんと名付けました。ピクトさんは、普段無視されがちですが、いつでも安全に注意するよう、私達を見守ってくれています。新しい映画館やショッピングセンターなどに行った時は、先ず私達が確認することは、ピクトさんを探し、自分達の安全に注意をして欲しいと思います。